

徳島市立5連覇

女子は池田2年連続

ハンドボール

全国高校選抜大会予選
ハンドボールの第40回
全国高校選抜大会徳島県

予選最終日は24日、池田総合体育館で男女の決勝リーグ戦の残り4試合があり、男子は徳島市立が5年連続9度目、女子は

13城北、徳島市立46、18徳島科技
▽順位の池田3勝の城北1勝1
勝1敗③徳島科技1勝2敗④城北
3敗
【女子】決勝リーグ 城北28-
6鳴門、池田21-5徳島市立
▽順位の池田3勝の城北1勝1
敗1分の徳島市立1勝1敗1分の
鳴門3敗2、3位は得失差に
よる。

気迫のプレーで圧倒 徳島市立

男子決勝リーグ最終戦で、徳島市立は46-18の大差で徳島科技を破り、3戦全勝で5連覇を飾った。守りからの速攻で流れをつかみ、全く危なげなかった。徳島市立の逢坂主将は「GKと連携してロングシュートを封じ、失点を抑えることができた」と冷静に勝因を分析した。

前半、左サイドから8得点を挙げた知名を筆頭に、逢坂、森内、中井がそれぞれ5得点の活躍を見せ、大量リードを奪った。後半に入っても、前線に出る気迫のこもったシュートと体を張った守りで、付け入る隙を与えなかった。

県予選は通過点と捉えており、あくまでも目指すのは全国大会出場。来年1月、九州の強豪校と試合を重ね、当たり負けしない体をつくって四国予選に臨む。攻守ともに切れのあるプレーを見せた森内は「チーム内の得

点主になるつもりで、ゴールをもぎ取りたい」と意気込んだ。

(須見千次郎)

【男子】決勝リーグ 鳴門38-1



男子・徳島市立対徳島科技 前半5分、徳島市立の知名(中央)がシュートを決め6-2とする＝池田総合体育館